

公募助成



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団



2024年度

環境市民活動助成

募集のご案内

応募期間

New

未来へつなごう助成

2023年9月20日(水)~10月10日(火) ※当日消印有効

地域美化助成

2023年9月15日(金)~10月5日(木) ※当日消印有効

活動助成

2023年10月11日(水)
~10月31日(火)

NPO基盤強化助成

※当日消印有効

2023年度助成実績 (2023年6月30日時点)

助成決定件数 **268**件

助成総額 **1億6186万4664**円



地域美化助成

助成の趣旨

ごみのない、緑と花咲く街並みをつくる活動を1年間支援します。

活動

公共性の高い場所で年間を通じて行われる清掃活動や、低木の苗木(成木時に2m以下の品種)、草花の種・苗・球根を植え、育てる活動。

※自然の生態系の保護を優先すべき地域や、学校・庁舎などの敷地における活動は対象外です。

助成金額

1団体あたり最大 50万円

活動助成

助成の趣旨

自然環境保護や生物多様性の保全、気候変動対策、体験型の環境学習など、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援します。

申請条件

3年連続して助成を受けた場合、その翌年は申請できません。

※2021年度より3年連続助成を受けている場合、申請不可

2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	...
○	○	○	休	○	○	○	休	...

助成金額

1団体あたり最大 100万円

NPO基盤強化助成

助成の趣旨

地域の課題解決のために行う革新的かつ持続可能な自主事業の構築・確立をめざすNPO法人に対し、事業資金・専従職員の人件費・事務所家賃を原則3年間支援します。

- ▶活動助成とは趣旨が異なります。多年度に渡り継続する活動助成ではなく、新たなフェーズに進むための助成です。
- ▶地域に必要とされており、地域経済の活性化を図る活動。
- ▶確立した自主事業をモデル化し、ノウハウ提供や指導、拡大をめざす活動。
- ▶活動終了後は、助成報告会で当年度の事業報告と次年度の事業計画をプレゼンテーションしていただきます。審査の結果、次年度の助成の可否を決定します。

申請条件

以下の2つの条件を満たすNPO団体が対象です。

- ▶「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されている。
- ▶2021年3月31日以前にNPO法人格を取得し、登記している。(法人として3年以上の活動実績がある。)

助成金額

1団体あたり最大 400万円(原則3年間 最大で総額1200万円の継続助成)

審査について

最終審査会においてプレゼンテーションによる審査を行います。



環境市民活動助成について

セブン-イレブン記念財団の「環境市民活動助成」は、お客様がセブン-イレブンの店頭募金を通して、地域の環境市民活動を支援する助成制度です。地域の環境問題を地域の市民が主体的に解決するために、さまざまな角度から支援し、市民主体の地域社会の実現を目指しています。

対象団体・活動について

- 環境活動を行っている国内のNPO法人、一般社団法人、任意団体(自治会、町内会含む)
- 日本国内に活動の場を有する団体
- 地域住民が主体的に行う非営利の活動であること
- 政治、宗教活動を目的としておらず、反社会的な勢力とは一切関わりがないこと

※上記以外の法人、観光協会、商店会は対象外です

皆様からの募金は
地域の環境活動に
役立てられています。



セブン-イレブン記念財団は設立30周年の節目を迎え、スローガンとロゴを制定しました。

スローガンは、「未来へつなごう」。人や街に寄り添い、共生・共創して、よりよい未来をつかっていきたいという想いを表現しました。「つなごう」と呼びかけ型にすることで、伴走感や親近感を生み出しています。

ロゴは、豊かな未来をつかっていく象徴として「バトン」をモチーフにデザイン。人から人へと想いがつながる様子やそこから新しいアクションが生まれることをシンプルかつ印象的に表現しています。



また新たな助成制度として、「未来へつなごう助成」を新設しました。

設立30周年記念

未来へつなごう助成

助成の趣旨

地域の環境課題解決のために活動する大学生・大学院生の取り組みを1年間支援します。

申請条件

- 学生が主体の団体やプロジェクトであること
例)ゼミ・研究室・サークル
- 学生が主体ではない既存団体に所属して行う活動は不可
- 顧問または保証人を1名選任すること

助成金額

1団体あたり最大 30万円

団体数

最大 30団体



環境市民活動助成スケジュール

年度	2023年度							2024年度(助成対象期間)				2025年度
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	～	3月	4月
地域美化助成	応募期間 9月15日～10月5日					専門審査会 2月上旬	助成決定 3月中旬	同意書提出 4月1日～4月末	順次振込			報告書提出 最終締切:4月11日
未来へつなごう助成	応募期間 9月20日～10月10日					最終審査会 3月中旬	同意書提出	順次振込				報告書提出 最終締切:4月11日
活動助成						専門審査会 2月下旬	助成決定 4月上旬	順次振込 4月中旬～5月中旬				報告書提出 最終締切:4月11日
NPO基盤強化助成			応募期間 10月11日～10月31日							助成報告会 5月中旬 ※NPO基盤強化助成のみ		

- 助成対象期間は「2024年4月1日～2025年3月31日」です。
- 応募期間は、申請する助成制度により異なります。
- 助成先団体選定の透明性と公正性を高めるために、**それぞれの活動フィールド・活動内容をもとに審査する専門審査会**と、その結果をもって**広い視点から審査を行う最終審査会**の2度の審査会を設け、厳正な審査を経て助成団体を決定しています。
- 助成が決定した団体へ、年度初めに助成金を順次お振込みします。
※2023年度助成を受けられている場合、2023年度助成の精算が完了次第お振込みします。
- 活動終了後には速やかに報告書を提出いただきます。



日立木6号
花壇ボランティア
(福島県)



助成対象の活動フィールドと活動内容

- 未来へつなごう助成・活動助成・NPO基盤強化助成は、5つの活動フィールド及び活動内容から**メインとなる項目をそれぞれ1つ選び**申請してください。

活動フィールド

- 奥山
- 里山*
- 河川・湖沼・湿地
- 里海
- 市街地



活動内容

- 自然環境保護・保全
- 希少な野生動植物種の保護・保全
- エコ活動*の推進
- 環境学習
- 普及・伝承

※里山：人の手入れにより維持されてきた雑木林、竹林、草原など

※エコ活動：再生可能エネルギーの創出・利用、省エネ、脱プラスチック、食品ロス削減、3R活動など

助成対象経費

科目	内容 (いずれも税込金額で、具体的な内容を申請してください。) ()内の金額は、1台あたりの上限金額です。	地域 美化	未来へ つなごう	活動	NPO 基盤強化
苗木・花苗代	低木(成木時で2m以下)の苗木、草花の種苗、球根	●	●	●	●
	高木(成木時で2m超)の苗木		●	●	●
	培養土、腐葉土、有機肥料	●	●	●	●
地域美化備品費	刈払機(5万円以下)、刈払機用エプロン、フェイス・スネガード、ヘッジトリマー、ブロワー、鎌、鍬、鋸、剪定・高枝ばさみ、スコップ、レーキ、手動運搬車、コンテナボックス、燃料・給水タンク、水遣りポンプ、ジョウロ、ホース、バケツ、プランター、トンク、てみ、ほうき、ちりとり、ゴム手袋、軍手、倉庫(設置費込・10万円以下)、デジタルカメラ(5万円以下)、長靴・安全靴(個人配布は対象外)	●			
ごみ運搬・処理費	ごみ運搬用レンタカー、ごみ運搬時ガソリン(走行距離km×20円で算出)、ごみ処理費用、マニフェスト費用	●	●	●	●
消耗品費	文具(コピー用紙・プリンターインクを除く)、材料・資材、機械燃料、替刃、ごみ袋、応急手当用品、虫よけ(農薬、殺虫剤は除く)	●	●	●	●
保険料	ボランティア保険、レクリエーション保険など ※対象期間:2024年4月1日~2025年3月31日	●	●	●	●
広告費	一般参加者募集チラシ・ポスター・会報作成費 (インク、紙、デザイン費用含む。 会報は団体外部への活動告知を含む場合のみ対象)、 活動PR用のぼり・横断幕・パンフレット・パネル作成費	●	●	●	●
	ホームページ作成・リニューアル費 ※作成・受取後には、申請団体で更新ができること		●	●	●
通信費	郵便代(切手、ハガキ、レターパック、封筒含む)、宅配便	●	●	●	●
備品費	機械、道具、倉庫(設置費込・10万円以下)、参考図書(書籍名を明記)、チェーンソー防護ズボン・チャップス		●	●	●
電子機器備品費	コンピューター(10万円以下)、タブレット(8万円以下)、デジタルカメラ(5万円以下)、プリンター(5万円以下)、プロジェクター、スクリーン ※各品目1回限り、申請活動の事務作業・活動実施で使用すること		●	●	●
賃借料	会場、会場設備・備品、機械(レンタル業者からの借り受けのみ)、活動物品保管のための倉庫年間使用料 ※対象期間:2024年4月1日~2025年3月31日		●	●	●
旅費交通費 申請総額の30%以下	公共交通機関、車両ガソリン(走行距離km×20円で算出)、有料道路、レンタカー代、宿泊費(1人あたり1泊9,000円以下・上限金額以内の実費精算)		●	●	●
資料作成費	参加者配布資料、テキストブック、報告資料		●	●	●
外部講師謝金 申請総額の30%以下	外部講師・専門家への謝金(1人あたり1日上限2万円) ※団体役員・会員への謝金は対象外		●	●	●
建築工事費	専門業者にしかできない建築設備工事			●	●
調査費	自団体ではできない専門家によるデータ収集・分析		●	●	●
事務所家賃 10万円以下/月	団体事務所家賃および共益費(別途振込手数料を計上可能) ※会員の自宅を兼ねている場合は対象外				●
人件費 20万円以下/月	常勤専従職員1名の基本給(別途振込手数料を計上可能) ※団体代表者への人件費/各種手当は対象外				●

申請前に必ずお読みください

助成対象外の経費について

- 飲食代、食材・飲料の購入費
- 化学肥料、除草剤、殺虫剤
- 外来生物法によって、特定外来生物あるいは未判定外来生物に指定されている植物
※ 環境省HPをご覧ください。
<https://www.env.go.jp/nature/intro/>
- 交雑による遺伝子攪乱につながる他地域からの同一種の動植物持込
- 外部委託費（整備活動やイベント企画運営の外部発注など）
- 役員・会員・スタッフへの日当またはそれに準ずるもの
- 司会や運営補助など講師以外の謝金、参加者への景品
- 寄付金、諸会費、資格取得に伴う受講料
- 土地の賃借料、個人所有物を借り受けた際の謝金またはそれに準ずるもの
- 活動場所の案内看板
- イベント出展料・入場料
- タクシー代、駐車料金
- レンタル機材の補償・オプション保険
- 広告掲載料、チラシ折込費用、ポスティング費用
- ホームページのサーバー維持費、ドメイン料金
- ドローン
- ビブス、ユニフォーム、キャップ、腕章
- 保守修繕費
- 団体事務所の経費（日用品の購入費用等）
- ネットオークションやフリーマーケットサービスで購入したもの
- 持ち帰り用のレジ袋
- その他、当財団が不相当と判断した経費

※詳細は当財団ウェブサイト
をご覧ください



申請書提出にあたって

- 1団体1申請です。
- 申請された物品とその価格の根拠を具体的に知るために見積書が必要です。
- 単価が1万円以上の場合、単価が1万円未満でも複数購入によって合計金額が1万円以上になる場合は、必ず見積書を提出してください。
- 助成金額上限の50%以上の物品、ホームページ作成・リニューアル費については、2社以上の見積書を提出してください。
- 見積書は、業者発行の見積書のほか、カタログ・インターネット検索のコピーでも可能です。申請団体作成の経費一覧表や過去の領収書は見積書とみなしません。
- 旅費交通費は、申請活動における助成対象期間中の公共交通機関利用料、ガソリン代、有料道路利用料、宿泊費をそれぞれ申請してください。鉄道料金や走行距離は、料金表またはインターネットの経路検索結果を添付し、必ず計算根拠を示してください。
- 物品を購入する場合の送料、手数料は助成対象となります。送料、手数料込みの金額で申請してください。複数の支払い方法がある場合は、より安価な方法を選択してください。

審査時に確認するポイント

- 環境保護・保全の活動であること
- 活動の目的や目標が明確であること
- 計画に実行性があるか
- 申請額が計画に対して妥当か
- 継続性がある活動か
- 地域の協力があるか
- 協力団体はあるか
- 他のNPOへの波及効果や発展性があるか

報告書提出にあたって

- 助成対象の活動終了後、「助成事業の活動報告書」「会計報告書」「領収書・お買い上げ明細書（いずれも原本）」をご提出いただきます。
- 領収書の原本がない計上は認められません。
- 会計報告書を基に当財団事務局にて計上内容を確認いたします。各科目内での精算となります。
- 申請時に計上の無い物品、助成決定時に除外された物品は対象となりません。
- 助成決定後の内容変更は原則認められません。
- 残余金の繰り越しや流用は出来ません。

よくあるご質問

Q1 事業年度の期間がセブン-イレブン記念財団の助成期間と一致しないのですが、資料はどうすればいいですか？

A 2022年度と2023年度の資料は、自団体の事業期間で問題ありません。2024年度は、助成対象期間の2024年4月1日～2025年3月31日に合わせた資料を提出してください。

Q2 助成決定前で収支が未確定です。収支計画(予算)は、どのように作成すればよいですか？

A 収支計画(予算)は、助成を受けることを前提に立案してください。

Q3 添付資料(写真・冊子など)は、返却してもらえますか？

A 返却できないため、現物の提出が難しい場合は、コピーを添付してください。

Q4 他の財団や基金からの助成を同時に受けることはできますか？

A 可能です。ただし、1つの品目に対して、当財団と別の助成元から二重に助成を受けることはできません。併用する助成元が別財団からの同時助成を認めているかどうかは、団体側で確認してください。

Q5 参加者向けのパンフレットやチラシなどを印刷するトナーやインク代、プリンターリース代も助成対象でしょうか？

A 助成対象は申請した活動にかかる経費に限定されます。例えば、事務所のコピー機で印刷する場合、申請活動で使用する分とそれ以外の使用分を分けられるのであれば申請できます。



認定NPO法人
森林の風
(三重県)



NPO法人 SEA藻
(愛知県)

Q6 提出書類確認表に申請活動分野別の添付書類として、「1年以上の有効期間がある活動場所所有者発行の使用許可書・承諾書」とあります。1年以上の有効期間は、具体的にいつからいつまでの期間をさしますか？

A 少なくとも、助成期間の使用許可書と承諾書が必要です。2024年度の助成には、2024年4月1日～2025年3月31日の期間が必要です。使用契約が複数年の場合、有効期限切れのないようにご注意ください。海での活動については、内容により漁業組合等の許可が必要な場合があります。

Q7 助成金で作成した図鑑やテキスト、グッズは、無料配布しなければなりませんか？販売してはいけないのでしょうか？

A 販売も可能ですが、申請書にその旨を明記し、事業収入として計上してください。

Q8 後日参加者に差し上げる活動写真のプリント代、DVDやCDなどの費用は助成対象ですか？

A 参加者への写真配布費用は助成対象外です。活動報告書として印刷し、外部に配布する場合は、資料作成費として申請できます。

※さらに詳しい内容は、ホームページの「よくあるご質問」をご参照ください。





環境市民活動助成の応募要項

助成対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

事務局より申請内容についてお問い合わせする場合がございます。ご協力をお願いいたします。

募集期間 ※いずれも当日消印有効

地域美化助成

2023年9月15日(金)～10月5日(木)

未来へつなごう助成

2023年9月20日(水)～10月10日(火)

活動助成

NPO基盤強化助成

2023年10月11日(水)～10月31日(火)

応募方法 ※Web申請を推奨します

① Web申請

Web申請システムに団体情報を登録の上、必要事項を入力してください。書類の郵送は不要です。

URL▶ <https://7midori.yoshida-p.net/>

② 手書き申請(メールアドレスをお持ちでない場合のみ可)

各助成の応募要項をご覧の上、下記の事項をFAXにてお知らせください。申請書を郵送いたします。

- ①団体名
- ②送付先の郵便番号・住所・氏名・電話番号
- ③申請する助成名
(地域美化助成・未来へつなごう助成・活動助成・NPO基盤強化助成のうち、いずれか1つ)

FAX▶ 03-3261-2513

申請内容の記入と提出書類について

1. 申請内容は具体的にまとめて記入してください。
2. 提出できない書類がある場合は、理由を明記してください。
3. 活動実績が1年に満たない場合は、活動開始日から2024年3月31日までの事業計画書(見込み)と収支計画書(見込み)を提出してください。
4. 団体により、事業年度開始の日が異なっても、2024年度の助成は、2024年4月1日～2025年3月31日の活動について申請してください。
5. 申請書・添付書類の返却はいたしません。書類は全てコピー(写し)を取り、必ずお手元に保管してください。

審査結果の通知～精算について

大学、行政、環境分野における専門家の方々が審査します。採択・不採択にかかわらず、審査結果をシステム内または郵送にて通知します。

① 助成金のお振り込みについて

所定の手続き後、助成金を前払いにてお振込みいたします。個人名義の口座にはお振込みできません。団体名義の口座をご用意ください。

② ステッカー・ロゴマークなどの掲出について

店頭で募金をしてくださった皆様への、募金の使途明示のため、下記の対応を条件とします。

- 機械や備品に、「一般財団法人セブン-イレブン記念財団」のステッカーを貼付。
- 団体ホームページのトップページおよび活動告知ページへの掲載。印刷物や制作物への掲載。活動場所への掲出。掲載イメージ



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。

③ 活動報告と精算について

助成活動の終了後、速やかに「活動報告書」「会計報告書」「領収書・お買い上げ明細書(レシート)」の原本を提出いただきます。

当財団において上記資料を確認し、未使用金、助成決定項目以外の費用、領収書や明細書などの未提出、ロゴマーク・ステッカー未掲出、当財団が不適当と判断した場合は、ご返金いただきます。

NPO基盤強化助成は、プレゼンテーションによる報告も行っております。(年1回・5月頃)

お問い合わせ先



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8

TEL 03-6238-3872 FAX 03-3261-2513

(電話受付時間 9:30～17:00 ※土・日曜日を除く)

Eメール oubo.24@7midori.org

URL <https://www.7midori.org>

